

2021年 3月22日

株式会社 佐賀共栄銀行

第13次中期経営計画（2021年4月～2024年3月）の策定について

株式会社佐賀共栄銀行（頭取 二宮 洋二）は、下記のとおり、2021年4月1日から2024年3月31日までの3年間を計画期間とする第13次中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 期間 2021年4月1日 ～ 2024年3月31日（3年間）
2. 目指す姿 「地域に根ざした面倒見の良い銀行」
3. 基本方針 「収益性の向上」「徹底したコスト削減」「人材の活性化」
4. 3年後の指標

項 目	3年後の指標	項 目	3年後の指標
貸出金残高（末残）	1,819 億円	事業性融資取引先数	6,524 先
預金残高（末残）	2,530 億円	修正 OHR	79.1%
貸出金利息額	40 億円	本業利益	275 百万円
コア業務純益	9 億円		

5. 計画の詳細

計画の詳細については、当行ホームページをご参照ください。

◎本件に関するお問い合わせ先
総合企画部
山口
TEL 0952-22-7578

第13次中期経営計画

2021年4月 ～ 2024年3月

佐賀共栄銀行

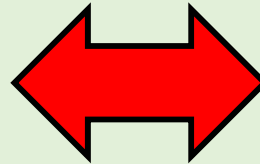
第13次中期経営計画の概要

経営理念	一. 健全経営に徹し、地域経済の発展に寄与する 一. 時代の変化を機敏にとらえ、挑戦し続ける 一. お客さまと株主、行員とその家族のために最善をつくる						
計画期間	2021年4月 ～ 2024年3月（3年間）						
目指す姿	地域に根ざした面倒見の良い銀行						
基本方針	収益性の向上 徹底したコスト削減 人材の活性化						
3年後の 指 標	貸出金残高 (末残)	預金残高 (末残)	貸出金 利息額	コア業務 純益	事業性融資 取引先数	修正OHR	本業利益
	1,819億円	2,530億円	40億円	9億円	6,500先	79.1%	275百万円

基本方針について

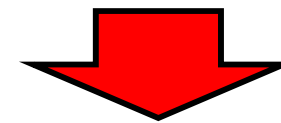
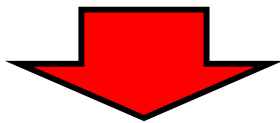
基本方針

- 収益性の向上
- 徹底したコスト削減
- 人材の活性化



経営理念の実現

- 一. 健全経営に徹し、地域経済の発展に寄与する
- 一. 時代の変化を機敏にとらえ、挑戦し続ける
- 一. お客さまと株主、行員とその家族のために最善をつくる



地域経済活性化への貢献

基本方針 収益性の向上

私たちは地域金融機関として、お客さまの元に足繁く通い、お客さまに対する資金供給の役割やお客さまの課題解決提案等に注力することにより、収益性の向上に取り組んでまいります。

足繁く通う営業活動の徹底

実権者の方との面談・対話に徹底的にこだわります。

事業性融資先数の増加

事業性融資先を3年間で、5,300先(2021年3月末実績見込み)から1,200先増やし、6,500先とします。

サービスに見合った適正な貸出金利息の確保

お客さまの満足度を高め、それに見合った金利をいただきます。

お客さまに対する課題解決提案、販路拡大支援、事業承継、M & A、経営改善支援など

お客さまのお役に立てる業務について、さらに強化します。

ご融資のスピード回答

お客さまからの融資申し込みから回答までにかかる時間を短縮します。すでにお取引のあるお客さまからの融資のお申し込みについては、概ね3日以内の回答を目指します。

デジタル技術を活用したサービスの提供

- ・スマホアプリ等非対面サービスの導入を検討します。
- ・新しい通帳のあり方やサービスについて検討します。

有価証券運用の効率化

株式・REIT等の運用について、外部委託を行います。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けられたお客さまの徹底支援

国や県の支援策を活用し、お客さまの資金繰りを徹底して支援します。

基本方針 徹底したコスト削減

無駄な業務やコストを見直し、業務の効率化を行うことにより、さらなるコスト削減に取り組んでまいります。

経費削減

- ・経費の見える化により、改善行動を促進します。
- ・徹底して相見積もりを行います。
- ・ペーパーレスで対応可能な業務の拡大を図ります。
- ・印鑑レスで対応可能な業務の拡大を図ります。

店舗の効率化

店舗の統廃合や空中店舗化等により効率化を図ります。

人員削減

2023年度までに行員数を30人削減し、270人体制とします。
なお、人員削減により総人件費を抑制する一方で、賞与により1人当たり人件費は増加させます。

事務の効率化

- ・営業店事務・本部事務の簡素化を大胆に行います。
- ・無駄や重複を洗い出すことにより、取扱業務を抜本的に見直します。

本部組織のスリム化

本部組織を統合してスリム化することにより、本部に配置する人員を減らし、営業店に配置する人員は維持します。

基本方針 人材の活性化

行員一人ひとりが持続的に成長・活躍できる環境を整備し、時代の変化に挑戦し続けるよう、多様性に富んだ人材の育成に取り組んでまいります。

行員の人間力の向上

- ・魅力があり、頼られる人間を育てます。
- ・「すぐやる 必ずやる 出来るまでやる」を実践します。
- ・お客さまの懷に飛び込む「コミュニケーション能力」を発揮します。
- ・お客さまの課題に対する「ソリューション能力」を向上させます。

女性活躍の推進

クォータ制の導入により、管理職に占める女性の割合15%以上を目指します。

現在の3名から新たに5名以上登用し、8名以上を目指します。

注:クォータ制 … 一定数の女性を確保したい際に、予め割り当てを行うこと。

能力のある人材の積極登用

職位ごとの滞留年数を撤廃することにより、能力のある人材を積極的に登用します。

専門的知識を有する人材の育成

専門性が重要な領域について、専門的知識を有する人材(スペシャリスト)の育成を行います。

- ・有価証券運用1名、システム部門1名、相続業務1名等。

3年後の指標

	2021年3月期 実績見込み	2024年3月期 数値目標	増減
貸出金残高（末残）	1,950億円	1,819億円	▲131億円
預金残高（末残）	2,500億円	2,530億円	+30億円
貸出金利息額	40億円	40億円	±0
コア業務純益	10億円	9億円	▲1億円
事業性融資取引先数	5,324先	6,524先	+1,200先
修正OHR	77.6%	79.1%	+1.5%
本業利益	234百万円	275百万円	+41百万円